

東関東道水戸線(潮来～鉾田)によるストック効果

- 鹿島港からのアクセスが向上し、飼育配送時間の低減、物流の効率化が見込まれ、北関東地域に向けた安定的な飼料の提供が可能。
- 茨城空港までの所要時間が短縮されることで、利用客の利便性が向上。
- 常磐自動車道、国道51号の災害時の代替路線が確保されることで、緊急輸送道路ネットワークの強化が図られ、地域の安心・安全が確保。
- 鹿行地域周辺の観光資源への所要時間が短縮され、県内外からの利便性が向上。

鹿島港からのアクセス強化

・とうもろこし輸入量と北関東地域の畜産業の状況

畜産業が盛んな北関東地域(茨城・栃木・群馬)鹿島港の背後にある北関東地域は都道府県別畜産生産額が高い



アクセス向上により安定的な飼料の供給が可能



・とうもろこしの輸入量全国1位【鹿島港】

・畜産業が盛んな北関東地域へ安定的な飼料の供給が可能

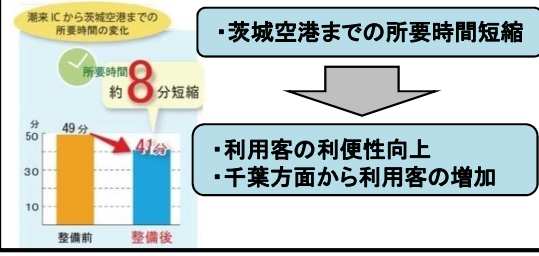


茨城空港へのアクセス強化

・潮来ICから茨城空港までのルート



注1) 所要時間の算出は、H22道路交通センサス混雑時旅行速度による。東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)は、設計速度80km/hを使用。注2) フライト情報は、茨城空港ホームページH26.1.31時点。



災害時の代替路線

・常磐自動車道、国道51号の災害時の代替路線が確保されることで、緊急輸送道路ネットワークの強化が図られ、地域の安心・安全が確保できます。



観光地の活性化

・鹿行地域周辺の観光資源への所要時間が短縮

・県内外からの利便性が向上

・観光客の更なる増加

